

第 13 回国立国会図書館契約監視委員会議事概要

| | | |
|----------------------|--|---|
| 開催日及び場所 | 平成 26 年 10 月 9 日（木）午前 10 時～午前 11 時 45 分 国立国会図書館総務課第二会議室 | |
| 委員長及び委員 | 委員長 山口 俊明（公認会計士） 委員 本田 実（城西国際大学経営情報学部教授） 委員 山本 清（東京大学大学院教育学研究科教授） | |
| 審議対象契約期間 | 平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日 | |
| 指名停止の運用状況 | 2 件（13 者） ・独占禁止法違反 7 者（平成 26 年 3 月 31 日～9 月 30 日等） ・刑法第 96 条の 6 第 1 項（公契約関係競売等妨害罪）関係 1 者他 5 者（平成 26 年 6 月 16 日～12 月 15 日等） | |
| 抽出事案（件） | 5 | （備考）事案総数 200 件 |
| 随意契約（公共工事）（件） | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・契約件名：書籍搬送機設備整備工事（平成 25 年度） ・契約相手方：株式会社 S&S エンジニアリング ・契約金額：12,999,000 円 ・契約締結日：平成 25 年 9 月 30 日 ・担当部局：総務部会計課 |
| 競争入札（物品役務等）（件） | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・契約件名：国立国会図書館東京本館における利用者登録、入退館カウンター及び利用者端末操作支援作業 1 式 ・契約相手方：ナカバヤシ株式会社東京本社 ・契約金額：78,540,000 円 ・契約締結日：平成 25 年 4 月 1 日 ・担当部局：総務部会計課 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・契約件名：国立国会図書館こん包済資料等の国内運送作業 ・契約相手方：日本郵便株式会社銀座郵便局 ・契約金額：360 円等 42 件 ・契約締結日：平成 25 年 4 月 1 日 ・担当部局：総務部会計課 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・契約件名：国立国会図書館関西館自動書庫設備の保守 1 式 ・契約相手方：株式会社ダイフク DTS 本部西部サービス部 ・契約金額：15,345,960 円 ・契約締結日：平成 25 年 4 月 1 日 ・担当部局：関西館総務課 |
| 随意契約（物品役務等）（件） | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・契約件名：電子ジャーナル「中国学術雑誌全文データベース(CAJ)」及び「中国重要新聞データベース(CCND)」の利用 ・契約相手方：株式会社東方書店関西支社 ・契約金額：9,289,980 円 ・契約締結日：平成 25 年 4 月 1 日 ・担当部局：関西館収集整理課 |
| 委員からの意見・質問、それに対する回答等 | 別紙のとおり | |
| 委員会による意見の具申又は勧告 | なし | |
| 抽出委員の選出 | 本田委員を次回の抽出委員に指定した。 | |

別紙

| 意見・質問 | 回答等 |
|--|--|
| <p>【書籍搬送機設備整備工事（平成 25 年度）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保守作業もこれとは別に契約を結んでいるが、本事業との関連性はどのようになっているのか。 ・保守作業と工事を一体化したほうが、経済的にメリットが多くなるのか。 ・経年劣化が工事の途中で判明した場合、工事の範囲を追加することはあるか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・通常の軽微な調整等については保守作業で行っており、部品交換等が必要な規模の大きなものは計画に基づいて工事として行っている。 ・保守作業と工事を分けているのは作業内容が機器のメンテナンスと工事では異なるためであり、業者の参加資格等も異なっている。 ・あらかじめ交換する部品を仕様書に定めており、途中で工事の範囲を追加することはない。 |
| <p>【国立国会図書館東京本館における利用者登録、入退館カウンター及び端末操作支援作業 1 式】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業の質については、どのように保証しているのか。作業員の基準についての規定を定めることで、一定の質を保証することが出来るのではないか。 ・利用者の個人情報を扱う作業だが、作業員により情報が流出する可能性はないのか。 ・個人情報を取り扱うなどのリスクの高い案件については、個人情報保護の観点等から、契約内容に関連の条項を別途定めるなど、より厳正なリスク管理を行うよう検討を行うべきではないか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・作業員については、正社員を責任者としておくように契約で定めている。利用者サービスに係る業務なので、クオリティコントロールの必要がある。活動評価の一環として利用者アンケートを行っており、アンケート結果にサービスへの評価が反映されることによっても、作業の質は把握し得る。 ・作業工程や場所を工夫することによって、作業員による情報の持出しは不可能となっていると考えている。 ・契約書には守秘義務の条項を入れており、これによって個人情報の漏えいについても対応できるものと考えている。 |

| | |
|--|--|
| <p>【国立国会図書館こん包済資料等の国内運送作業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国の図書館に対して国立国会図書館は貴重書や資料を貸出しているが、運送途中で事故が発生した場合の補償についてはどのようなになっているのか。 ・資料貸出時の送料の負担についてはどのようなになっているのか。往復割引などを利用しているのか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・貴重書は図書館間貸出の対象外である。貸出資料に事故が発生した場合については、契約書で補償を求めている。 ・貸出の発送費用は当館が負担しており、返却に係る費用は貸出先が負担している。往復割引については、貸出先に運送業者を指定することはできないので利用していない。 |
| <p>【国立国会図書館関西館自動書庫設備の保守 1式】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1者入札が続いている。情報を適切に開示することや仕様書・説明資料をより詳細にするなどして、他の業者も参加しやすくすべきではないか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・競争入札として必要な情報は公表しており、入札説明書も配布している。申し出があれば現地確認等の対応も行っている。 |
| <p>【電子ジャーナル「中国学術雑誌全文データベース (CAJ)」及び「中国重要新聞データベース (CCND)」の利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外データベースの利用について、他の利用機関などと情報交換をおこなっているのか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・このデータベースの場合、当館と類似した内容の契約をしている機関は無いので、情報交換をすることは無い。 |